



○町内一斉清掃

昨年十二月七日、本年度二回目の町内会

による一斉清掃が行

われました。師走に入

った最初の日曜日。何

かとあわただしい中、

町全体で約八千人（各

家庭から一人参加）の方が参加しまし

た。多くの方により、公共の場所

や民家の少ない地域の道路に捨て

られたままになっているごみが取

り除かれたのです。

○地域の主体的な取り組み

町内会ごとに、道路脇のごみ拾い、草

引き、落ち葉の掃き集めなど取り組み内

容が計画され、事前に各家庭に伝えら

れました。

みんなできれいにしして、新しい年を

迎えたいという願いの現れなのでしょ

う。当日は、朝早くからごみ袋や道具

を携え、みんなが一緒になってまちを

美しくするためのさまざまな取り組み

が行われたのです。

○集められたごみは？

一〜二時間ほどの取り組みで集めら

れたごみや落ち葉は、それぞれ地区ご

とにまとめられ、その日のうちに回収

されました。そのごみの総量は、笠松

町全体で約三・六トンにのぼります。落

ち葉以外

のごみの

ほとんど

は、タバ



コの吸い殻、食べ物の包み紙、雑誌類

など燃えるごみ、ビン、缶、ペットボ

トルといった使用済みの容器など投げ

捨てられたごみの類です。中には、不法

な粗大ごみもありました。

みんなのこうした努力で、町はきれ

いになりましたが、問題はこの町のきれ

いな状態がいつまで続くかです。

○見ずえさないごみ！

人が活動すれば、ごみは必ずでます。

笠松町では、ごみの分別収集が導入さ

れ、ごみに対する意識も高くなり、町

民全体でごみをきちんと処理していま

す。問題は、道路や公共地におけるポイ

捨てのごみなのです。

自分は、ごみをポイ捨てしないとい

う意識と共にごみを見ずさないで捨

うことが大切です。この意識がきれいな

まちづくりにつながるのです。



ごみを見ずさず拾う